

混ぜればごみ、 分ければ資源

燃やすごみの減量化と資源化の徹底を

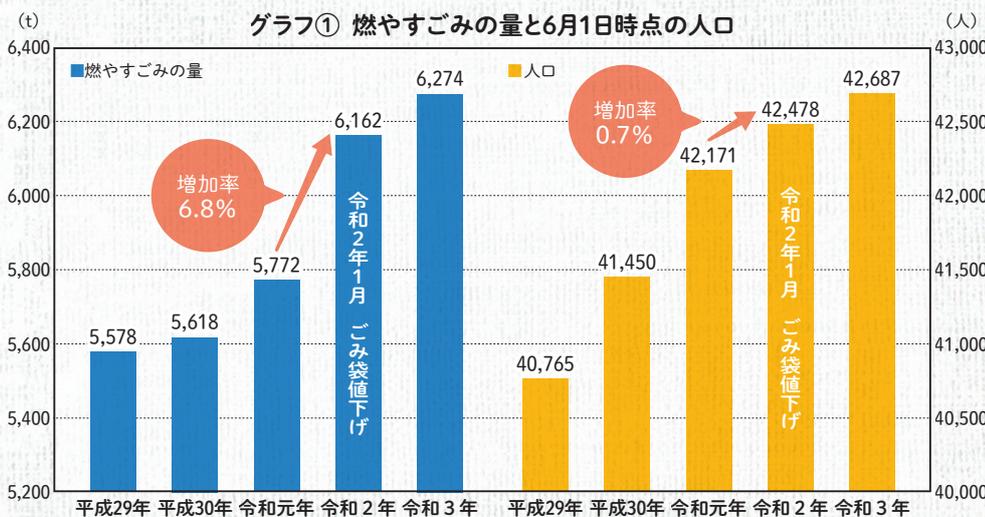


分別意識の定着により、令和2年1月から燃やすごみ指定袋の値下げをしますが、それ以降、燃やすごみの量が増加しています。

町の燃やすごみは、岡崎市に処理をお願いしていて、ごみの量が増えるほど、その処理費も増えてしまいます。ごみを減らすことは、処理費を削減するだけでなく、地球温暖化の原因となっている二酸化炭素の増加も抑えることができます。

燃やすごみの減量化と資源化の徹底にご協力ください。

グラフ① 燃やすごみの量と6月1日時点の人口



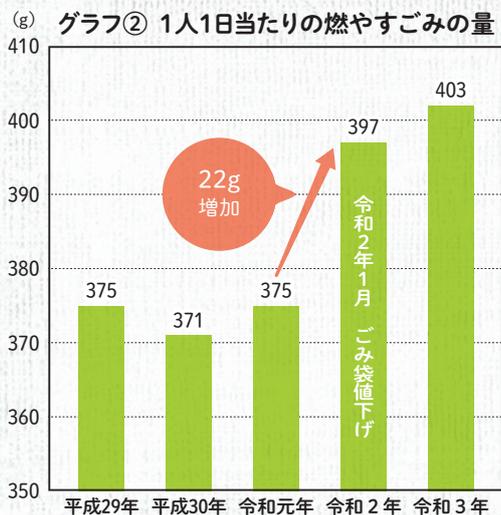
過去5年分の燃やすごみの量と1人1日当たりのごみの量を分析してみました

グラフ①は、燃やすごみの量と人口を示しています。年々燃やすごみの総量が増加しています。

町のごみの現状は？

ことがわかります。特に燃やすごみの指定袋を値下げした令和元年から令和2年にかけては約6・8%増加と著しいことが分かります。ここで、人口の増加と比較してみましょう。各年の6月1日時点の人口は燃やすごみのグラフの右に示しています。燃やすごみの量と人口はともに右肩上がりが増加しています。町の人口は増えているので、燃やすごみの総量も増えると考えられますが、ごみの量の増加率（グラフの矢印）は人口の増加率に比べ著しく増えていることが分かります。次に1人1日当たりのごみの量を計算してみましょう。グラフ②は燃やすごみの量を人口と年間日数で割ったものです。特に燃やすごみ指定袋の値下げを開始した令和2年は、前年に比べて約22g増えています。1人1日当たりになると、たった22gと思われるかもしれませんが、年間では町全体で390tもの燃やすごみが増えています。

グラフ② 1人1日当たりの燃やすごみの量



資源物の混入率と処理費

環境課では、毎月ごみの分別状況を調査しています。この調査で、燃やすごみとして出されたりリサイクル可能なミックスペーパー、プラスチック製容器包装の混入率は平均で約8%ということが分かりました。これらの資源物を燃やすごみとして処理した場合、年間約894万円もの処理費がかかります。分別をすればこれらの費用が削減できるだけでなく、ミックスペーパーは、中間処理業者を経て、再生紙やティッシュやお菓子の箱など、



どに、プラスチック製容器包装は、食品トレイ、服などに生まれ変わります。

資源物の「分別」の徹底を

プラスチック製容器包装の分別方法

商品を取り出したり、中身を使い切った後に不要となったりする容器や包装を「プラスチック製容器包装」といいます。

●プラスチック製容器包装の出し方

魚や肉のトレイ、ペットボトルのラベル、卵のパックなどのプラスチック製容器包装は、中身を使い切ってから、水ですすぐなどしてきれいにしてから、不要なビニール袋などにまとめて入れ、出してください。このビニール袋などを、地域の分別ステーションや、平日資源等拠点回収に出しましょう。

* シャンプーボトルなどの硬質プラスチックもプラスチック製容器包装に含まれます。ただし汚れが取れないものは「燃やすごみ」として出してください。



紙 ミックスペーパーの分別方法

資源になる紙類には、新聞、雑誌、段ボール、飲料用の紙パックがあり、それ以外にリサイクルできる「ミックスペーパー」があります。

●ミックスペーパーの出し方

ティッシュやお菓子の箱、トイレットペーパーの芯などのミックスペーパーは、不要な紙袋に入れます。この紙袋を地域の分別ステーションや、各団体が行う資源回収、資源拠点回収、平日資源等拠点回収に出しましょう。

* 汚れが取れない紙は「燃やすごみ」として出してください。

燃やすごみを減らすには、町民の皆さんの協力が必要です。できることから一緒に始めましょう。

問合せ 環境課 ごみ対策グループ

☎(0564)62-1111(内線273)
FAX(0564)63-5169



ごみ処理容器など購入費の補助金をご活用ください

- 対象** 町内在住で、生ごみ処理容器や処理機を設置する人
- 補助内容** 購入金額の2分の1 (100円未満端数切捨て)
補助限度額は、処理容器1基:6,000円、処理機1基3万円まで
1世帯につき処理容器は2基、処理機は1基まで

* この補助金を利用して設置した生ごみ処理容器や処理機がそれぞれ3年を経過して、損傷などで買い替える場合に限り、もう一度だけ補助金を受けることができます。

申請方法 購入日から60日以内に申請書を提出してください。*領収書など添付

申込み 環境課 ごみ対策グループ
☎(0564)62-1111
(内線273)
FAX(0564)63-5169

